



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 亀田製菓株式会社

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 通泰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営統括本部長 (氏名) 佐藤 勇

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日

平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	37,688	△1.1	643	△36.8	1,047	△17.5	390	△36.4
22年3月期第2四半期	38,093	4.3	1,018	128.3	1,269	120.5	613	192.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	18.00	—
22年3月期第2四半期	27.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	50,675	28,227	55.2	1,291.44
22年3月期	52,791	28,403	53.3	1,297.04

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 27,997百万円 22年3月期 28,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
23年3月期	—	11.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	11.00	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	3.3	3,800	9.2	4,300	6.9	2,400	14.2	110.62

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ― 社（社名 ）、除外 ― 社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	22,318,650株	22年3月期	22,318,650株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	639,037株	22年3月期	621,847株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	21,695,798株	22年3月期2Q	21,991,591株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～9月30日)の国内経済は、企業収益の改善傾向が見られたこと及び経済対策の効果等もあり、個人消費に一部持ち直しの動きが見られたものの、依然として厳しい雇用情勢や為替相場の企業収益への影響などから景気の先行きへの不透明感が強まる環境で推移いたしました。

食品業界では、記録的な猛暑の影響から一部季節商品が活発に動いたことでコンビニエンスストアの消費に回復の兆しが見られた反面、菓子業界では大きな減売要因となり、さらにはお客様の低価格志向や市場競争激化に伴う販売価格の下落が依然として続いたことなどにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、当社グループは前期よりスタートした3カ年中期経営計画で掲げる「グローバル・フード・カンパニー」を目指し、国内主力商品ブランドの強化、生産能力増強と品質向上、海外市場展開などに取り組んでまいりました。

主力商品ブランドである「亀田の柿の種」や「ハッピーターン」は、販売促進活動や広報活動などの効果により、前年を上回り好調に推移いたしました。また、「うす焼」や「つまみ種」、「手塩屋」ブランドやその他商品は、市場の低価格競争や猛暑の影響により前年を下回る結果となりました。

新商品では平成22年8月に「チーズリッチ」、「粒ほぐれ」を発売し、市場定着に向けた営業活動を行っております。

また、関東圏の物流の効率化と共配事業の拠点化を進めるために、新潟輸送株式会社は埼玉県所沢市に関東広域センターを9月に竣工いたしました。

海外においては、青島亀田食品有限公司の海苔巻商品等が中国国内のコンビニエンスストアに採用されるなど中国市場での需要が増加し、さらにタイのSMTC Co., Ltd.を含む海外子会社と当社グループとのクロスボーダー取引の推進により、稼働率の向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は376億88百万円(前年同期比4億4百万円の減少)となりました。

利益面につきましては、売上高の減少による減益及び競争激化に伴う販売促進費等の増加、燃料費の高騰等により、営業利益は6億43百万円(前年同期比3億74百万円の減少)となり、経常利益は持分法適用関連会社である米国TH FOODS, INC.の業績が好調に推移したことにより10億47百万円(前年同期比2億22百万円の減少)、四半期純利益は3億90百万円(前年同期比2億23百万円の減少)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、506億75百万円になり、前連結会計年度末と比較して21億16百万円減少しました。主な資産の変動は、「建物及び構築物」が7億37百万円、有形固定資産の「その他」が9億32百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が13億9百万円、「受取手形及び売掛金」が26億11百万円それぞれ減少したことによるものです。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が6億44百万円、「短期借入金」が3億1百万円、「未払法人税等」が8億83百万円それぞれ減少したことによるものです。

主な純資産の変動は、「為替換算調整勘定」が1億52百万円の減少、「その他有価証券評価差額金」が49百万円の減少したことと、「利益剰余金」が1億30百万円増加いたしました。

②連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費や売上債権の回収による増加の一方、仕入債務の減少や法人税等の支払いなどによる減少により、20億19百万円(前年同期比10億62百万円の減少)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による支出などにより、△25億67百万円(前年同期比3億41百万円の支出増加)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、△8億7百万円(前年同期比1億61百万円の支出増加)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して13億65百万円減少し、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は54億27百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経営環境につきましては、デフレの影響や販売競争の激化など不透明感が残るものの、当社グループはお客様に安全・安心で健康的な価値ある商品の提供、特に主力商品ブランドを中心に拡大を図るとともに、一層のコスト削減を推進してまいります。

当第2四半期累計は減収減益となり平成22年10月21日に第2四半期累計の業績修正は行いましたが、平成23年3月期の連結業績予想につきましては、平成22年5月11日の決算短信で発表しました業績予想を見込んでおります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ3,929千円、税金等調整前四半期純利益は102,502千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は116,946千円であります。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

- 1 前第2四半期連結累計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「為替差損」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「為替差損」は3,561千円であります。

- 2 前第2四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めて表示しておりました「投資有価証券評価損」は、特別損失総額の100分の20を超えたため、「投資有価証券評価損」として区分掲記することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれる「投資有価証券評価損」は2,283千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「リース債務の返済による支出」は、重要性が乏しいため、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「リース債務の返済による支出」は△16,765千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,464,437	7,774,216
受取手形及び売掛金	7,475,747	10,086,902
商品及び製品	1,083,655	947,535
仕掛品	531,182	492,966
原材料及び貯蔵品	1,524,001	1,294,942
その他	1,209,196	1,044,569
貸倒引当金	△7,608	△11,744
流動資産合計	18,280,613	21,629,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,096,145	8,358,984
機械装置及び運搬具（純額）	7,742,940	8,096,539
土地	6,642,902	6,642,902
その他（純額）	1,619,805	686,809
有形固定資産合計	25,101,794	23,785,235
無形固定資産		
のれん	22,665	25,687
その他	663,297	514,909
無形固定資産合計	685,963	540,597
投資その他の資産		
その他	6,671,031	6,901,446
貸倒引当金	△64,301	△65,552
投資その他の資産合計	6,606,730	6,835,894
固定資産合計	32,394,488	31,161,727
資産合計	50,675,101	52,791,115

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,680,020	5,324,751
短期借入金	2,514,000	2,815,723
未払法人税等	217,425	1,100,548
賞与引当金	1,204,306	1,248,411
その他の引当金	233,173	323,000
資産除去債務	77,453	—
その他	5,006,826	4,879,454
流動負債合計	13,933,206	15,691,889
固定負債		
長期借入金	1,270,000	1,470,000
退職給付引当金	6,548,434	6,649,882
その他の引当金	331,900	331,900
負ののれん	34,584	46,112
資産除去債務	72,636	—
その他	256,530	197,934
固定負債合計	8,514,086	8,695,829
負債合計	22,447,293	24,387,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,132	1,946,132
資本剰余金	486,533	486,533
利益剰余金	27,098,051	26,967,980
自己株式	△951,619	△922,740
株主資本合計	28,579,097	28,477,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△153,004	△103,394
繰延ヘッジ損益	△42,598	—
為替換算調整勘定	△385,649	△232,998
評価・換算差額等合計	△581,252	△336,392
少数株主持分	229,964	261,883
純資産合計	28,227,808	28,403,396
負債純資産合計	50,675,101	52,791,115

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	38,093,113	37,688,475
売上原価	23,000,815	22,885,203
売上総利益	15,092,297	14,803,272
販売費及び一般管理費	14,074,108	14,159,517
営業利益	1,018,188	643,755
営業外収益		
受取利息	6,884	6,342
受取配当金	49,025	55,997
負ののれん償却額	11,528	11,528
持分法による投資利益	159,857	288,876
その他	73,579	109,955
営業外収益合計	300,876	472,699
営業外費用		
支払利息	16,301	22,337
為替差損	—	22,057
その他	33,036	24,883
営業外費用合計	49,337	69,278
経常利益	1,269,727	1,047,176
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,087	5,140
特別利益合計	1,087	5,140
特別損失		
固定資産処分損	116,033	136,277
減損損失	40,435	—
投資有価証券評価損	—	86,699
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	98,573
その他	2,283	—
特別損失合計	158,752	321,550
税金等調整前四半期純利益	1,112,062	730,766
法人税、住民税及び事業税	522,913	222,251
法人税等調整額	△27,208	141,878
法人税等合計	495,705	364,129
少数株主損益調整前四半期純利益	—	366,636
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	2,817	△23,795
四半期純利益	613,538	390,432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,112,062	730,766
減価償却費	1,385,729	1,502,384
減損損失	40,435	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	98,573
のれん償却額	11,030	3,022
負ののれん償却額	△11,528	△11,528
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	497	△5,140
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	47,916	△101,447
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73,174	△44,105
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△43,620	△89,827
受取利息及び受取配当金	△55,910	△62,339
支払利息	16,301	22,337
持分法による投資損益 (△は益)	△159,857	△288,876
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,283	86,699
固定資産処分損益 (△は益)	83,896	82,966
売上債権の増減額 (△は増加)	1,654,457	2,608,219
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△696,712	△409,856
仕入債務の増減額 (△は減少)	△327,125	△639,951
その他	229,564	△634,076
小計	3,362,595	2,847,820
利息及び配当金の受取額	118,796	284,893
利息の支払額	△22,717	△30,459
法人税等の支払額	△376,877	△1,082,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,081,796	2,019,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△6,000	△56,000
有形固定資産の取得による支出	△1,901,631	△2,329,740
有形固定資産の売却による収入	1,175	3,758
投資有価証券の取得による支出	△213,143	△7,376
投資有価証券の売却による収入	230	—
その他	△106,454	△177,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,225,823	△2,567,125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△28,275	△104,517
長期借入金の返済による支出	△199,498	△397,206
リース債務の返済による支出	△11,758	—
自己株式の取得による支出	△186,592	△28,879
配当金の支払額	△220,040	△260,153
その他	—	△16,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646,164	△807,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,008	△10,408
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,816	△1,365,742
現金及び現金同等物の期首残高	5,172,299	6,793,295
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,399,115	5,427,553

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社グループは、菓子の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月31日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。